

平成29年度「しがはいすくーるおすすめ本50選」優秀作一覧

優秀作50編（書籍タイトル数48）

応募総数1,633編（20校）

No	書名	著者名	紹介者	学校名	学年
1	追憶	青島 武	守山		2
2	そして誰もいなくなった	アガサ・クリスティー	草津		3
3	桐島、部活やめるってよ	朝井 リョウ	国際情報		2
4	文豪ストレイドッグス 55Minutes	朝霧 カフカ	水口		2
5	神様の御用人	浅葉 なつ	守山		2
6	海波家のつくも神	淡路 帆希	水口		1
7	死神の精度	伊坂 幸太郎	国際情報		2
8	ぼっちーズ	入間 人間	東大津		1
9	悪女	映画館	長浜北星		1
10	野火	大岡 昇平	守山		1
11	春となりを待つきみへ	沖田 円	長浜北星		1
12	夏と花火と私の死体	乙 一	守山		2
13	あの日	小保方 晴子	MIHO美学院		4
14	夜のピクニック	恩田 陸	国際情報		2
15	犬と私の10の約束	川口 晴	草津		3
16	世界から猫が消えたなら	川村 元気	国際情報		1
17	世界で一番貧しい大統領からきみへ	くさば よしみ	甲西		1
18	星の王子さま	サン＝テグジュペリ	堅田		3
19	キノの旅 the Beautiful World	時雨沢 恵一	長浜北星		1
20	とんび	重松 清	MIHO美学院		4
21	おおきな木	シュル・シルヴァスタイン	東大津		1
22	無人島に生きる十六人	須川 邦彦	草津		3
23	か「」く「」し「」ご「」と「	住野 よる	伊香		3
24	君の臍臓をたべたい	住野 よる	甲南		2
25	君の臍臓をたべたい	住野 よる	甲南		3
26	君の臍臓をたべたい	住野 よる	草津		3
27	また、同じ夢を見ていた	住野 よる	守山		2
28	よるのぼけもの	住野 よる	国際情報		2
29	卵の緒	瀬尾 まいこ	長浜北星		1
30	言っではいけない残酷すぎる真実	橘 玲	国際情報		2
31	仮面病棟	知念 実希人	彦根翔西館		1
32	学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話	坪田 信貴	草津		3
33	本を守ろうとする猫の話	夏川 草介	守山		2
34	君にさよならを言わない	七月 隆文	長浜北星		1
35	掟上今日子の備忘録	西尾 維新	東大津		1
36	恋のゴンドラ	東野 圭吾	国際情報		2
37	どちらかが彼女を殺した	東野 圭吾	長浜北星		1
38	マスカレード・ホテル	東野 圭吾	守山		1
39	雪煙チェイス	東野 圭吾	守山		1
40	夢幻花	東野 圭吾	守山		2
41	永遠の0	百田 尚樹	草津		3
42	パパ、ママ、あいしてる エレナが残したメッセージ	ブルック・デザリック キース・デザリック	甲西		1
43	これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学	マイケル・サンデル	国際情報		2
44	告白	湊 かなえ	石山		2
45	夜行観覧車	湊 かなえ	甲南		2
46	I Love Youの訳し方	望月 竜馬	堅田		3
47	ジョーカー・ゲーム	柳 広司	守山		2
48	ニホンブンレツ	山田 悠介	国際情報		1
49	りゆうがあります	ヨシタケ シンスケ	甲南		3
50	いい人ランキング	吉野 万理子	国際情報		1

平成 29 年度

「しかはいすくーるおすすめ本 50 選」 優秀作品

(氏名の有無は本人の希望です)

(著者五十音順に並んでいます)

『追憶』 青島 武 著 小学館

ある夏の日に出会った3人の少年は1つの罪を犯す。離ればなれになって29年後、3人はある事件をきっかけに再び会うこととなった。その事件を調べる刑事、被害者、そして容疑者として…。その日一体何が起こったのか。そして、3人は忘れたはずの29年前の事件を思い出す。この本は映画化されたことで話題になった。予想もできない事件の真相に、あなたはきっと驚くだろう。最後まで気を抜かずに読んでほしい。

(守山高校 2年生)

『そして誰もいなくなった』 アガサ・クリスティー 著 早川書房

私がすすめる本はアガサ・クリスティーの『そして誰もいなくなった』です。友人がすすめてくれたことが読んだきっかけです。

この本は、その題名のとおり、人がカウントダウンのように減っていく話です。一人一人が子守唄をなぞらえて殺されていくので、読みながら次を想像して楽しむことができます。犯人が分からない中でおこる殺人や減っていく人形が不安をあおりますが、最後まで飽きることなく読むことができます。

(草津高校 3年生)

『桐島、部活やめるってよ』 朝井 リョウ 著 集英社

田舎の県立学校。バレー部の頼れるキャプテン・桐島が、理由も告げずに突然部活をやめた。そこから、周囲の高校生たちの学校生活に小さな波紋が広がっていく。バレー部の補欠・風助、ブラスバンド部・亜矢、映画部・涼也、ソフト部・実果、野球部ユレーイ部員・宏樹。部活も校内での立場も全く違う5人それぞれに起こった変化とは…？高校生にピッタリの本となっている。青春が描かれている。ぜひ読んでみてほしい。

(国際情報高校 2年生)

『文豪ストレイドッグス ～55Minutes～』 朝霧 カフカ 著 KADOKAWA

大半の者が異能を持つという武装探偵一行がとある依頼で横浜近海を“航海する島”スタンダード島へ訪れた。然し其処では今正に未曾有の異能兵器がテロリスト、未来を知る男により起動しようとしていた。敦は男を追うが、惜しくも兵器は起動してしまう。その時敦の前にウェルズという女性が現れる。彼女は彼の女だったが起動を阻止すべく異能で敦を過去へ。リミットは55分間。起動を阻止し全ての真相へ辿り着けるのか？！

(水口高校 2年生)

『神様の御用人』

浅葉 なつ 著

KADOKAWA

神様にだって、悩みはある！そんな彼らの悩みを解決するための多くの神社を訪れる、孝太郎。人々が日々抱えているような悩みが、神様たちにもあり、その悩みを孝太郎はどう解決していくのか？笑いあり、涙ありの、非現実的な日常を描いたこの小説を一度読んでみてはいかがでしょうか？

(守山高校 2年生)

『海波家のつくも神』

淡路 帆希 著

KADOKAWA

これは田舎の一軒家で独り暮らしをすることになった男子高校生が、家に住んでいたつくも神達と暮らしていく話です。物に魂を宿す力を持つ主人公の大地は昔から大切にしていた物ほどよく失くしてしまっていて、どうせ失くしてしまうなら、周りの物に愛着を持たなければ自分は悲しい思いをしなくてすむと考えていました。そんな大地が、つくも神達といることで考えが変わっていくところで、物を大切にすることの大切さがわかる本だと思います。

(水口高校 1年生)

『死神の精度』

伊坂 幸太郎 著

文藝春秋

この本は、ぼくの中にあつた死神という定義を見事に打ち破っていったとても魅力的な作品だった。この話は、そんな死神目線で展開し、数人の人間と関わりその者が期日で死ぬか、寿命を全うするのかを判断していくという内容になっている。特に死神の発するセリフは、現代を忙しく生きる私たちへの作者からのメッセージのようにも感じられ幾度となく心を打たれた。これから人生の分かれ目を迎える高校生にぜひ読んでほしいです。

(国際情報高校2年 吉田 龍司さん)

『ぼっちーズ』

入間 人間 著

KADOKAWA

特に変わっているわけでも、特別な事情を抱えているわけでもない。ただなぜか周囲にうまく溶け込まない。そんな彼らが集まって、通称「ぼっちーズ」。「友達って、何？」様々な心の葛藤と戦いながらも、彼らはその答えを探し続けます。みなさんも、同じような疑問を一度は抱いたことがあるのではないのでしょうか。彼らと共に、あなただけの「答え」を見つけてみてください。

(東大津高校1年 中道 菜月さん)

『悪女』

映画館 著

KADOKAWA

ある高校に悪女と呼ばれる少女がいた。その悪女は学校でも人気の王子と付き合っている。しかし、王子には身体のか弱い幼なじみの姫が。王子と姫がお似合いだという姫の友人、村人は悪女の家を焼く。親を失い絶望した悪女は生きるために極道の治める隣街へ出た。そこで、街を治める極道、悪の帝王に拾われた悪女は、愛し愛され、本当の愛を知っていく。

さて、本当の悪は、悪女？それとも姫…？

(長浜北星高校 1年生)

『野火』 大岡 昇平 著 新潮社

「俺が死んだら、ここを喰べてもいいよ」これはある将校が主人公の田村一等兵に言った言葉である。私はこのフレーズを読んだとき、日本人らしい美徳的な精神だと思った。しかし、最後まで読むと戦争はただ醜く、おぞましいものだと考えるようになった。これは本を読み、戦争の厳しさを知ることができたからだ。よって、戦争の厳しさを知り、争いをしないために読むべき一冊である。

(守山高校 1年 山岸 素さん)

『春となりを待つきみへ』 沖田 円 著 スターツ出版

主人公の瑚春は、幼い頃からいつも一緒に大切な存在だった双子の弟・春霞を、5年前に事故で亡くして以来、その死から立ち直れず苦しい日々を過ごしていた。そんな瑚春の前に、ある日冬真という謎の男が現れ、そのまま瑚春の部屋に住みついてしまう。私は冬真の正体を知ったときの感動が、こころに残っている。命の大切さや、自分の周りにいる人たちの大切さに考えさせられた。心が温まる、素敵な物語だ。

(長浜北星高校 1年生)

『夏と花火と私の死体』 乙 一 著 集英社

最後に、踏み台にしていた大きな石の上に背中から落ちて、私は死んだ。「そうだ、五月ちゃんを隠そう！」—弥生と健はひとつの死体を隠した。無邪気であるが故に、残忍な子どもたちを主人公に、恐ろしい結末が待っていた。貴方は子供という存在をどのように思っているのか。これはそれをつきとめたくなるような話だ。

(守山高校 2年生)

『あの日』 小保方 晴子 著 講談社

本を読む時間をあまり作れなく、苦手意識を抱いていた自分が、進路でふと悩んでいた時に先生に薦められたのがこの本です。一人の女性が人の役に立ちたいと研究者になったものの、メディアや世論の罵声に居場所を失い、夢を断たざるを得なくなるという実話です。今自分たちの身近にあるメディア。その報道にどんな感情を抱いていたか、自分に潜む心の闇に気づかせてくれます。と共に、新たな一歩を踏み出す勇気もくれる本です。

(MIHO 美学院中等教育学校 4年生)

『夜のピクニック』 恩田 陸 著 新潮社

歩行祭という舞台設定が秀逸でした。青春小説の定石であるクラスや学園などは登場せず、ひたすら歩く。その極限状態だからこそ、普段出来ない話をしてしまう。そこから、登場人物の普段の生活や思いが鮮やかに浮かび上がってきます。本作はぐっとくるような感動はないが、ゆっくりと後味残る感動だった。まるで自分が80キロを歩ききったような達成感と爽快感がある、いろんな意味でとても美しい作品だと私は感じた。

(国際情報高校 2年生)

『犬と私の10の約束』**川口 晴 著****文藝春秋**

私のおすすめの本は、川口晴さん著作の『犬と私の10の約束』です。2008年に映画が公開し、知っている人もいると思います。動物を家で飼っている人はもちろん、これから飼おうと思っている人、全てのいろいろな人が気軽に読めます。特に飼っている人は、命の重みや大切さを改めて考えさせられ、もっとペットを大切にしようと思います。そして、本の中には犬の写真が貼られていて字も少し大きくて、本を初めて読む人におすすめです。

(草津高校3年 山崎 里紗さん)

『世界から猫が消えたなら』**川村 元気 著****小学館**

突然、余命を告げられた男性の前に、男性と同じ顔の悪魔と名乗る男が現れた。その男は「何かを消すかわりに、一日だけ余命を長くする。」という。余命が少しでも長くなるならと男性は男の条件を受ける。電話や映画、猫……。今まで当たり前にあった物がなくなった時にそのもののありがたさや命の大切さを同時に感じる事が出来る感動ストーリー。あなたはその時、どんな物を消す選択をしますか。

(国際情報高校 1年生)

『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』**くさば よしみ 編****汐文社**

ホゼ・ムヒカは、元ウルグアイ大統領でありながら3部屋しかない家に住み、友達からもらった車に乗り、いつも同じチェックの上着を着ている大統領らしくない大統領です。この本には、そんな「世界で一番貧しい大統領」と言われている彼が、今の日本のみんなへ伝えたいことが詰まっています。本当の幸せとは何か、自由とは何なのか、この本を読めば、きっとこれまでの価値観が180度変わります。

(甲西高校1年 後村 紗希さん)

『星の王子さま』**サン＝テグジュペリ 著****岩波書店**

この本は主人公がたった一人でサハラ砂漠に不時着し、エンジンを直しているときに起こった6つの不思議な出会いの中で心の成長をとげていく物語です。世界観がとてもファンタジーでよくわからない難しい部分も多いけど、読めば読むほどいろんな発見がある面白い本です。物語の中で「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない」という言葉を信じて、自分の心を育てていこうという思いになれるとてもいい本です。

(堅田高校 3年生)

『キノの旅 -the Beautiful World-』**時雨沢 恵一 著****アスキー・メディアワークス**

私がこの本を読んだのは7年程前のことです。キノの旅を読もうと思ったきっかけは、ただ表紙の絵がきれいだったという理由です。読んでみるとこの本は、人間の欲深いところ、温かいところなど非常に上手に書かれています。そして、何より主人公の魅力に惹かれます。主人公は傍観者の立場の場面が多く、次々と話の内容が変わるので、飽きることがないです。気軽に読むこともできますが、そこにはしっかりと寓意が込められているお話です。

(長浜北星高校1年 上野 香純さん)

『とんび』 重松 清 著 角川書店

幼い頃に母を亡くしたアキラを、酒飲みでどうしようもない父ヤスが、男手一つでアキラを育てていくストーリーです。親の存在を知らないヤスは、アキラを「とんびが鷹を生む」と言われるほどに、父という存在を探し求めながら、強くたくましく育てようとします。ヤスは、アキラの心情の変化に無我夢中で喰らいついていきます。

父と息子のリアルな日常に涙すること間違いなしです。

(MIHO 美学院中等教育学校 4年 大野 綾万さん)

『おおきな木』 シュル・シルヴァスタイン 著 あすなろ書房

幼い頃から仲良しだった木と少年。しかし、時が流れるにつれて木はひとりになってしまうことが多くなります。そして、少年の望みを叶えるために、木は自分のリンゴや枝、幹まで与えてしまうのです。果てには切り株になってしまった木に少年が求めたものは…。絵本なのに高校生の私でも完全には理解できないほど深い絵本です。「本当の幸せ」とは何か。そんなことを考えさせられます。是非一度、手に取ってみてください。

(東大津高校 1年 北川 歩果さん)

『無人島に生きる十六人』 須川 邦彦 著 新潮文庫

私のおすすめしたい本は、『無人島に生きる十六人』という実話を元に書かれた小説です。この本の魅力は、無人島に遭難するという絶望的な状況であるのに、みんなが一生懸命あきらめず協力し、一人一人が自分のできることを全力で行っていくという点が印象に残りました。また、みんなが協力することはとても大切だと思いました。他にも、みんなをまとめることができる人は必ず必要だと感じました。是非手に取って読んでみてください。

(草津高校 3年生)

『か「」く「」し「」ご「」と「」』 住野 よる 著 新潮社

映画にもなった『君の隣臓をたべたい』の住野よるさんの作品。各章ごとに5人のキャラクター目線で物語が展開されていく。各キャラは人には言えないかくしごとがあり個性豊かな特殊能力をもっています。この作品はありふれた学生生活だが少し特別な日常をそれぞれのキャラクターの視点で描かれた物語です。読めばきっとこんな学生生活を送りたかったと思える、そんな清涼感の溢れる青春小説です。

(伊香高校 3年生)

『また、同じ夢を見ていた』 住野 よる 著 双葉社

私が、住野よるさんの小説の中で一番好きな一冊です。学校に友だちのいない主人公、奈ノ花が、3人の女性との出会いや様々な出来事を通して、「幸せとは何か」を考え、自分自身を変えていく物語です。ラスト場面で、疑問に思っていたことが全て一つに繋がったときにきっと衝撃と感動が味わえるはず。ファンタジーな作品ですが、高校生の私たちにもしっかりと繋がっていて、改めて大切なことに気付かされるような素敵な作品でした。

(守山高校 2年生)

『君の臍臓をたべたい』**住野 よる 著****双葉社**

この本は、主人公が偶然、病院で拾った「共病文庫」という一冊の本から始まる。その本には、いつも元気で明るいクラスメイトの山内桜良が臍臓の病気でもうすぐ死ぬことが書かれていました。まったく関わりがなく、正反対な2人がひかれ合う物語です。命の大切さや日常があることの幸せ、人を愛することのすばらしさを学べる本です。タイトルは少し怖いですが、予想を裏切る展開に一気読みしたくなる作品です。ぜひ読んでください。

(甲南高校 2年生)

ラスト、きっとこのタイトルに涙する。主人公の「僕」が病院で拾った「共病文庫」というタイトルの文庫本。それはクラスメイトの山内桜良の物で、臍臓の病気により余命が迫っていることがわかった。病気の話は2人だけの秘密になった。病気をきっかけに2人の距離は縮まり、山内桜良のやりたいことに付き合うようになった。壮絶な運命に立ち向かう2人に起こった悲劇とは何か。読み応え満載の1冊になっています。

(甲南高校3年 池本 安季さん)

私が紹介する本は、『君の臍臓をたべたい』という本です。少し手に取りにくいタイトルですが、内容は感動的で、何度も読み返したくなります。このタイトルにも、思いのすべてが込められているような深い意味があります。人付き合いをしない主人公が病気のクラスメイトと関わっていくうちに変わっていく主人公の心境がとてもよく表現されていて感動しました。とても感動する面白い本です。ぜひ読んでみてください。

(草津高校 3年生)

『よるのばけもの』**住野 よる 著****双葉社**

昼は人間、夜はばけものになる男子中学生と、一人ぼっちの女子中学生の物語です。ファンタジーな話かと思いきや、クラス内のいじめの話でした。昼はクラスメイトと共に彼女を無視しなければなりません。夜になると主人公は学校へ行って彼女と「夜休み」を共に過ごします。夜休みとは何か、なぜ彼女はいじめられているのかなど、ページをめくるたびに悲しく、そして驚かされます。いじめについて、今、深く考えませんか。

(国際情報高校2年 九條 咲也花さん)

『卵の緒』**瀬尾 まいこ 著****新潮社**

「僕は捨て子だ。」かなり衝撃的な言葉からこの本は始まる。この本は主人公の育生の日々が描かれているのだが、事件もトラブルも恋愛の描写もなにもない。しかし、なぜか心が温かくなる。私は、育生の母が育生にしょっちゅう何気なく、でも真剣に「好きだ。」と伝えているところが大好きだ。こんなにストレートに愛の言葉を伝えられる母親は最高だと思う。この本は、家族の絆、人と人との結びつきの形を独特の言葉で感じる本である。

(長浜北星高校1年 福田 光彩さん)

『言っではいけない 残酷すぎる真実』

橘 玲 著

新潮社

この本の冒頭には、「これは、不愉快な本だ。だから、気分よく一日を終わりたいひとは読むのをやめたほうがいい。」と述べられています。だから、そのようなひとはこの本をおすすめできません。しかし、筆者は、「言っではいけない」とされている残酷すぎる真実こそが、世の中をよくするために必要だと思っています。遺伝、見た目、教育に関わる不愉快とされている現実を知りたいひとにおすすめします。

(国際情報高校 2年生)

『仮面病棟』

知念 実希人 著

実業之日本社

この物語は夜の療養型病棟にピエロの仮面をかぶったコンビニ強盗犯がたてこもったことから始まる。この強盗犯は入ってくるなり、自分が撃った女の治療を要求した。たまたま病院に居合わせた医者速水は脱出しようとするうちに病院の秘密を知ってしまう。一度読むとスピード感のある心理戦に引き込まれ、手が止まらない！ページを進めるごとにドキドキハラハラが止まらないこの本の結末のどんでん返しを見てほしい！

(彦根翔西館高校 1年生)

『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』

坪田 信貴 著

KADOKAWA

私が読んだ本は、「ビリギャル」です。この本は、偏差値30の高校生が70まで上げ慶應大学に合格する話です。今までは勉強をしないで友達と遊んでいたさやか。父からも慶應なんて絶対合格しないと見離されていた。父の変化にも注目です。さやかはある塾の先生に会い変わります。自分に自信がないと言う人や、あきらめてしまう人にオススメです。さやかとその家族に注目して読んでください。

(草津高校 3年生)

『本を守ろうとする猫の話』

夏川 草介 著

小学館

「お前はただの物知りになりたいのか？」この言葉は作中で祖父が主人公に投げかける言葉です。主人公の林太朗は学校を休み祖父の経営する古本屋で本を読み漁っていたところで「本を読んだだけで自分が変わったわけではなくその後自分がどう動くかだ」と言われます。そんな言葉達を残して祖父は亡くなり、一人身となった林太朗の前に不思議な猫が現れます。「本を守る」この言葉の真意を知るとき、自分を見つめ直すことになる。

(守山高校2年 渡部 茅裕さん)

『君にさよならを言わない』

七月 隆文 著

宝島社

この本は、6年前に死んだ初恋の幼馴染みが幽霊になって出てきて、主人公と再会するという切なくて心が温くなるお話です。最初は幽霊となった幼馴染みを見えないふりをしていたけど、無邪気に話しかけてくるので話すことにした。4つの短編ストーリーが一つのお話になっています。彼女以外にも幽霊が出てきたり、霊が見える人が出てきて、物語を進めます。とても感動するのでみなさんも一度読んでみてください。

(長浜北星高校1年 熊谷 美瑠さん)

『掟上今日子の備忘録』**西尾 維新 著****講談社**

「こんな探偵は初めて。」この本を読んだ人は皆そう思うでしょう。この本における探偵、掟上今日子は一度寝ると記憶がリセットされる、忘却探偵。なので今日子さんは時間を一秒たりとも無駄にはしない。一方の依頼人、隠館厄介は“クラスで物がなくなると真っ先に疑われる人”という例がぴったりな昔からの冤罪体質。探偵も依頼人も個性的で読みやすい小説であるとともに、「今日は今日しかない」と時間の大切さを教えてくれる本です。

(東大津高校 1年 木村 優衣さん)

『恋の Gondola』**東野 圭吾 著****実業之日本社**

正直ゾツとした。この本は大人の恋について書かれている。幾つもの短い話が最終的に繋がるといふこの本の構成はとても興味をわかせた。大人の恋とは怖いものだ。学生はほとんどが浮気などしないと思うが、大人は当たり前のように行うものと感じた。少なくともこの本の登場人物はそうだった。いろいろなかたちで知り合い、関係を築いていく大人は、こうも簡単に人を好きになるものなのか。雪山を背景に繰り広げられる話は面白かった。

(国際情報高校 2年生)

『どちらかが彼女を殺した』**東野 圭吾 著****講談社**

自殺と見せかけて妹が殺されてしまった。その事件について、愛知県警豊橋署に勤務する兄の和泉康正が犯人への復讐に燃える推理小説である。この本の見どころは、犯人が誰かわからないで終わるといふ事である。もちろん、兄が犯人を追いつめていくのだが、読者には犯人がわからないで終わってしまう。なので、細かい部分までしっかりと読まないと犯人がわからない。ぜひ、謎解きに自信があるという人に読んでもらいたい作品である。

(長浜北星高校 1年生)

『マスカレード・ホテル』**東野 圭吾 著****集英社**

主人公は相手の仮面をはがす腕利きの刑事とお客様の仮面を守るプロのホテルクラーク。舞台は超一流ホテル。不可解な連続殺人事件に残された暗号から次の犯行現場はこのホテルだとされた。刑事がホテルマンに扮装し捜査をするという前代未聞の計画が実行された。散りばめられた伏線がラストで一気につながり、大きく物語が展開します。刑事の鋭い観察力とホテルクラークの完璧な対応力も圧巻です。

(守山高校 1年生)

『雪煙チェイス』**東野 圭吾 著****実業之日本社**

この本は容疑をかけられた主人公がアリバイを示すために雪山(ゲレンデ)に証人を探しに行くという物語です。探しに行っている間に刑事に追い詰められているのでずっと緊張しっぱなしです。追われる中で証人と間違えたり、道に迷ったりなどトラブルがどんどん起きてきます。この作品は根津と千晶シリーズであり、さらに雪山シリーズの一つなので他の作品を読んでからだによりおもしろく感じられると思います。

(守山高校 1年生)

『夢幻花』

東野 圭吾 著

PHP研究所

「黄色いアサガオには手を出すな。」本来なら存在するはずのない黄色いアサガオ。この本の主人公、蒼太と梨乃はこの花を通じて知り合い、2人でこの花の謎を解明していく。花の秘密を守り続ける宿命を背負った者たちによる10年構成の人間ドラマや、想像を絶する展開、そして驚きの真相にきっと誰もが夢中になるはず。読めば読むほど、どんどんハマっていく東野圭吾ミステリーの世界へ導いてくれる、そんな一冊です。

(守山高校2年 川邊 茉莉香さん)

『永遠の0』

百田 尚樹 著

講談社

私が紹介する本は、『永遠の0』です。これは、私たちが生まれるずっと前に世界で起こっていた戦争のお話です。主人公は当時、世界最速とまで言われた戦闘機の零戦に乗り、沢山いる兵士の中で一番の腕を持っていました。しかし、軍の中では「臆病者」と言われ、兵士たちから見下されていました。なぜ臆病者と言われていたのか。そして、主人公が最も大切にしていたのは何か。戦争中に強く、やさしく生きようとした男の物語です。

(草津高校3年 猪飼 涼さん)

『パパ、ママ、あいしてる エレナが残したメッセージ』

ブルック・デザリック キース・デザリック 著 早川書房

この本は、実話で6歳の女の子が懸命に病気と戦っていた時の本です。その女の子の名前はエレナです。エレナにはウェディングドレスを着るという夢がありその夢を叶えることができました。イルカと泳ぐこともできました。しかし、余命を宣告され8ヶ月後エレナは亡くなりました。家のいろいろなところに生前エレナがたくさんの手紙を隠していたことに気づきそこには、『パパ、ママ愛してる』と書いていた感動の話です。

(甲西高校 1年生)

『これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学』

マイケル・サンデル 著

早川書房

あなたは1人を犠牲にすれば5人が助かる状況があったとして、1人を見捨てる行為は正しいと思いますか？

哲学は机上の空論では断じてない。現代世界を覆う無数の困難の奥には、常にこうした哲学や倫理の問題がある。古今の哲学者の考えや古い哲学を改めて見直すことで、今新しく見えてくる「現代社会の問題」を考えさせられる。この問題に向き合うことなしに、よい社会をつくる事はできないと思える本だ。

(国際情報高校 2年生)

『告白』 湊 かなえ 著 双葉社

この本は、ある中学校の1年生のクラスの担任を持つ女性教師の衝撃的な「告白」から始まります。事故死とされていた、彼女の最愛の娘の死因の真相は、このクラスの生徒に殺されたのだと言うのです。事件の犯人や級友、犯人の母などの目線から、徐々に事件の真相が浮き彫りにされていく過程は、背筋がぞくぞくとするほどスリルたっぷりで、読むのをやめられません。思いがけない結末を迎えるこの本をぜひ読んでみてください。

(石山高校 2年生)

『夜行観覧車』 湊 かなえ 著 双葉社

坂を登れば高級住宅地“ひばりヶ丘”誰もが考えてもなかったエリート一家高橋家の殺人事件。高橋家の向かいに住んでいるのは毎日喧嘩が絶えない庶民の遠藤家。2つの家族、そして近所の住人が見る視点で事件の真相を明らかに…

実写化ドラマにもなった湊かなえさんの作品です。ハラハラ・ドキドキするオススメの作品です。

(甲南高校 2年生)

『I Love Youの訳し方』 望月 竜馬 著 雷鳥社

“I Love You”あなたならどのように訳しますか？日々言葉に向き合っている作家たちなら、“I Love You”の一文をどのように表現するのか、知りたくありませんか？「愛してる」なんて言葉を使わなくても想いを伝えることはできるのです。100人の作家による100通りの“I Love You”の訳し方に酔いしれてみてはいかがでしょうか。普段何気なく使っている日本語が、今よりもっと好きになるはずです。

(堅田高校 3年生)

『ジョーカー・ゲーム』 柳 広司 著 角川書店

結城中佐によって陸軍内に秘密裏に設立されたスパイ養成学校の“D機関”。そこで行われるとても普通とは思えない厳しい訓練をやすやすとやっけてのける学生たち。そんな彼らが世界各地で“見えない人”スパイとして活躍する！実写映画化やアニメ化もされていて、とても人気のある作品です。小話に分かれているので、時間が少なくても読みやすいですよ！頭脳プレーがすごくカッコいいスパイ小説です。

(守山高校 2年生)

『ニホンブンレツ』 山田 悠介 著 文芸社

この本は、日本が東西で対立して「東西の壁」ができ、たまたま東京に来ていた主人公の博文と恋人の恵実が生き別れになってしまう物語です。なんとか彼女に会う方法はないかとチャンスを待っていた主人公が西に潜入し、彼女と再会のために命懸けで立ち向かう姿にすごく感動しました。酷な物語の中で、人を思う気持ちや家族や友人、恋人との温かい絆がすごく感じられました。ラストは切なくて心に残る本です。

(国際情報高校 1年生)

『りゆうがあります』

ヨシタケ シンスケ 著

PHP研究所

ちゃんとしたりゆうがあれば、ハナをほじってもいいんじゃないだろうか…小さい子どもならではの「りゆう」。例えばストローをぶくぶくしちゃうのは「いろいろあるけど、なんとかげんきでやってます」と、神様に報告するための世界共通のサイン、など。大人に近づくにつれて失ってしまう、素敵で幸せな発想の力を思い出させてくれる絵本です。思わず笑ってしまったり、感心させてくれる子どもの「りゆう」。一度読んでみてください。

(甲南高校3年 土山 紗月さん)

『いい人ランキング』

吉野 万理子 著

あすなろ書房

「いい人」ってどんな人だろうと考えたことはありませんか。この本はその疑問について深く考えさせてくれる作品となっています。誰でも周りから「いい人」と思われたいものですが、あなたの考える「いい人像」はどんな人ですか。何でも頼んだらやってくれる人、絶対に怒らない人、いろいろな「いい人像」があると思います。この本は、私たちに「いい人」でいることの大変さや「いい人」についてたくさんを教えてください。

(国際情報高校 1年生)